

第41回全国ホテル研究大会報告

研究大会の概要

全国ホテル研究会の第41回大会が平成20年6月6日～8日の3日間、長崎県長崎市にて、全国ホテル研究会主催、第41回全国ホテル研究大会長崎大会実行委員会主管、環境省、国土交通省九州地方整備局長崎河川国道事務所、長崎県、長崎県教育委員会、長崎市、長崎市教育委員会、テレビ長崎、長崎放送、長崎文化放送、NHK長崎放送局、長崎国際テレビ、長崎ケーブルメディア、エフエム長崎、朝日新聞社、長崎新聞社、西日本新聞社、毎日新聞長崎支局、読売新聞長崎支局に盛大に開催され、全国各地から195名の参加をいただきました。

6日午前11時30分から午後1時00分までホテル矢太楼にて受付が行われ、午後1時00分から、オリエンテーションが開催され、浦川勲長崎大会実行委員長の歓迎の挨拶と実行委員会事務局の小川保徳氏から諸連絡がありました。午後2時からバスでグラバー園に移動し、さるく観光案内人の案内で園内を回り、最後に園内に作られたホテル水路を視察しました。ホテルに戻り5時から3会場に分かれて分科会が開催されました。今年は「ゲンジボタル・ヘイケボタル」「ヒメボタル」「ホテルの里づくり」の3



開会行事で「よさこいソーラン節」を披露して歓迎してくれた伊良林小の皆さん

分科会となりました。

夕食後、バスで三和町へ移動し、鹿尾川沿いにゲンジボタルとヒメボタルの観賞と地元の小学生達による歓迎の和太鼓の演奏を楽しみました。

翌7日、長崎ブリックホールを会場に研究大会が開催されました。研究大会の会場となる国際会議場の前のラウンジには地元の写真家タケヤマ トオル氏のホタルの写真展を同時に開催していました。また会議場の周囲の廊下を利用して、編集子の収集したホタルの絵葉書の展示をさせて頂きました。9時30分よりテレビ長崎の槌田禎子さんの司会で開会式が始まりました。開会宣言を中村副会長が行い、続いて古田会長の挨拶の後、金子原二郎県知事（立石暁副知事代読）、田上富久長崎市長の祝辞と続き、最後に長崎市立伊良林小学校児童による「よさこいソーラン節」が披露され、開会行事を終了しました。

開会式の後研究発表に移り、長崎市立伊良林小学校の児童による学校での環境活動の紹介、兵働馨氏による鹿尾川の河川改修における環境保全の取り組み、小川保徳氏によるグラバー園のビオトープ水路の紹介と地元の取組みが報告されました。その後、昼食をはさみながら会員による9件の研究の発表があり、近藤邦雄副会長の閉会宣言で研究発表が終了しました。最後に41回総会が開催されました（総会報告参照）。

研究大会終了後は、ホテル矢太楼に会場を移し、槌田禎子さんの司会で交流懇親会が開催されました。石本光一大会会長の、古田会長の挨拶の後、次期開催地である青森市に大会幕の受け渡しがあり、次期開催地を代表として実行委員会事務局の佐藤鐵雄氏の挨拶が行われました。吉原孝長崎市議会議長による乾杯の後、長崎市役所二胡愛好会による二胡の演奏や十善寺龍踊会による龍踊りなどがあり、最後に富工妙子ながさきホタルの会会長による閉会挨拶で楽しい宴も終わりとなりました。

17日は8時30分から希望者による市内観光があり、出島資料館や原爆資料館などを回りました。

会 場：長崎県長崎市 長崎ブリックホール

大会日程：

6月15日（金）

- | | |
|-------------|--------------------|
| 11：30～13：00 | 受付（ホテル矢太楼） |
| 13：00～13：40 | オリエンテーション |
| 14：00～16：00 | 現地視察（グラバー園） |
| 17：00～18：00 | 分科会（ホテル矢太楼） |
| 19：30～21：30 | ホタル観賞ほか（長崎市三和町鹿尾川） |

6月16日(土)

- 9:30~10:00 開会式
10:00~15:00 研究発表
15:00~15:30 第41回総会
18:30~21:00 交流懇親会(ホテル矢太楼)

6月17日(日)

- 8:30~12:00 市内観光(出島資料館, 原爆資料館ほか)

研究発表:

- ①私たちの環境を見直そう 長崎市立伊良林小学校
②鹿尾川河川改修におけるホタルの生態環境保全の取り組み
 ~河川管理者・自治体・地元住民の協働~ 兵働 馨
③グラバー園のビオトープ水路 小川 保徳
④瀬上沢のホタル生息調査と環境エコアップ活動 佐々木 史江
⑤ゲンジボタルの個体数変動に与える降雨の影響および降雨量からの
 次世代発生数予測 遊磨 正秀
⑥ゲンジボタル飼育幼虫の成育の差異に関する 大内 紘三
⑦ゲンジボタルの遺伝的分化と多様性から見た移植の問題点 草桶 秀夫
⑧ゲンジボタルの観察記録から~豆科学者のすばらしい発見(研究)と
 それを裏付ける研究者の報告を検索する~ 水上 哲夫
⑨中部地方におけるゲンジボタルの明滅周期について 井口 豊
⑩泳ぐホタルの幼虫の概要 大場 信義
⑪長野県フォッサ・マグナ地帯におけるホタル類分布の特異性 三石 暉弥
⑫スジグロボタルの分子系統解析 日和 佳政

(共同発表の場合は発表者のみ)

大会開催地より

◎大会開催地よりは「ながさきホテルレター」第31号から転載させていただきました。また、大会で発表をして頂いた、長崎市立伊良林小学校の6年生に、ホテルとの関わりを書いて頂きました。

・・・おかげさまで・・・

富工 妙子*

平成17年に第38回全国大会西尾大会において、平成20年長崎大会開催の立候補をなし、平成18年下関大会にて長崎大会の決定がなされました。

それから本年6月まで、全国大会の開催に向け、全ての活動が大会中心となって取り組んでまいりました。

約2年間、ばたばたとあわただしく走ってきたように思われます。慣れない作業で多くの方々に大変ご迷惑をおかけしました。

幸いにも、大会当日は天候に恵まれ、全ての計画がその通りに進行できたことは、大変有り難く嬉しいことでした。

長崎県、長崎市、十八銀行の皆様方には、快く大会の進行にご協力をいただきましたことは、感謝にたえません。ありがとうございました。

多くの人の力を借り、長崎大会が無事終了できましたことは、最高の感動であり、喜びでした。長崎らしい、長崎大会であったと満足しています。

*ながさきホテルの会会長

第4 1回全国ホテル研究会長崎大会を終えて

長崎大会実行委員会委員長 浦川 勲

「第4 1回全国ホテル研究会 長崎大会」にご参加いただいたご来賓をはじめ、多くの会員の皆様、遠路より出席していただいた方々、また、大会開催に壮大なご支援をいただきました多くの企業の皆様に、大会終了にあたり厚くお礼申し上げます。

今年は、発足して10周年となることから、記念誌の発行と記念行事では「全国」ホテル研究大会」を長崎大会として取り組めたことは、会員の皆様のご理解とご協力があったこそと、富工会長をはじめ役員一同感謝しております。

また、本大会を開催するにあたり、大会準備、運営に携わった実行委員会の方々には大変ご尽力いただき、心から感謝申し上げます。

私も実行委員の一人として、力不足ではありましたが、約1年をかけて準備し、「全国ホテル研究大会 長崎大会」を終えることができたことは嬉しく思います。

平成20年6月6日より8日まで、長崎ブリックホールにて、全国各地の取り組みを見ることができたこと、また交流会をとおし、仲間が増えたことで、「ながさきホテルの会」も新たな光を放つのではないかと感じます。

これからも自然と共生できる環境を、ホテルと地域を結び付けて継続的に取り組み、心豊かな子ども達が育っていくことを望みます。

長崎大会を顧みて

長崎大会実行委員会事務局 小川保徳

蝉しぐれが、日夜かまびすしく聞こえる毎日ではありますが、皆様にはご健勝にてお過ごしのことと拝察申し上げます。

子ども達は、楽しい夏休みを思い思いに過ごしていると思われませんが、連日厳しい暑さが続いており、熱中症など少し気になるところでございます。

長崎大会を終えて、早や2ヶ月を過ぎましたが、先日、富工会長から「ながさきホテルレター」への原稿依頼が急遽入り、”長崎大会を顧みて”感想を述べさせていただくこととなりました。

本大会きっかけは、3年前に遡りますが、「ながさきホテルの会」理事会（オブザーバーとして出席）において、発言した一言から始まりました。

「ながさきホテルの会」発足10周年の記念として、平成20年に長崎大会に立候補してみてもどうですか、とのことからで、今、思い起こせば、その口火を切ったのが、不肖私であり、当然のことながら、その責任を回避することが出来ない立場と言われても弁解の余地もございません。

そのときは、「ながさきホテルの会」の将来のために役立つと思いつつ、発言させていただきましたが、その付けが回ってきたのかと、自戒したことも度々でありました。

理事会の決定を受けて、平成17年6月、第38回愛知県西尾大会において、長崎大会への立候補を申し入れることとなりましたが、まさかその席に同席させられるとは到底思っていませんでした。

翌年、第39回下関大会（私は不参加）において、平成20年は「長崎大会」に決定したとの一報が富工会長から電話（下関会場より）で入ってまいりましたが、私には正直なところ朗報とも受け取り難い気持ちでありました。

大会に向けて実行委員会を立ち上げることとなり、私もその委員の一人として要請され、軽い気持ちで出席させていただきましたが、また、ここで、予期せぬことが起こりました。数人の委員さんから事務局として、企画、立案、運営を束ねてほしいとの要望があり、もうこれ以上は敬遠できないと半ば諦め、事務局の大役を受諾することといたしました。約1年掛かりで、大会に向けて準備に奔走したわけですが、実行委員の皆さんや当日スタッフの皆さんには、本当に無理難題を押し付けたこともありました。

しかし、大会終日まで役割担当者として責任持っていただき、本当にありがたく感謝しております。

今だから言えることですが、プライベートの係わりが殆どの中で、自宅での資料作成のため、夜なべをしたり、土・日曜を返上してパソコンに向かったことも数え切れないほどでした。

また、時には、孤独感に苛まれ、全国大会事務局の大変さを身をもって痛感いたしました。

終わってみれば、曲がりなりにも皆さんで作上げた長崎大会となり、10周年の記念に値する意義ある大会ではなかったかと自負しております。

最後になりますが、時節柄、皆様にはご自愛頂き、一層のご活躍をお祈り申し上げます。

第41回全国ホテル研究大会長崎大会を終えて

川端 保*

全国ホテル研究大会も無事終了し、会員の一人として、本当によかったなあと振り返っております。

これも、富工会長と浦川実行委員長の舵取りがなかりせばと思い、只々ご苦勞様でしたと感謝するばかりです。

10周年の一区切りを迎えて、これから県下のホテルの会の仲間呼びかけて、更な

る発展をしようと、活動目標のひとつの掲げられました。素晴らしいことだと思います。

そう思うにつけ、足元の私の仲間の活動が、私が代表格に押し上げられた途端に、それまで、日本晴れだったのが、急に曇ってきて、今やポツポツと雨が降ってまいりました。本当に申し訳なく思うのですが、私の実力の程を思うと、それも仕方ありません。せめて「ながさきホタルの会」へ、迷惑をあまりかけないようにと思うばかりです。

先の全国ホタル研究大会においては、発表がなかったと思いますが、先日テレビで（そのときはゲンジボタルでしたが）体長が普通の半分程度、そして光り方も弱々しく大丈夫かという程度、そんな個体が増えているということでした。

人間が少し節約して、半分程度になり、ホタルは現状より、もっともっと光って欲しいものだと思います。

まとまらない文になりましたが、最後に会員の皆様が、ますますお元氣でご活躍いただきますように、お祈りいたします。

* 八郎川をきれいにしよう会

ホタル委員会でもよかった

松島 拓朗

ぼくは、この一年間ホタル委員会として、ホタルのお世話をしてきました。前までは、ホタルにぜんぜん興味なかったぼくが、今では、ホタルのことが大好きになりました。というのは、本河内の御手洗水に、ホタルを見に行ったとき、ホタルがきれいにおしりから光をひかせながら、飛び回っている姿を見てぼくは、「ホタルってきれいな生き

新刊書の紹介

□ 灯し続けよ！ホタルの燈台 2008年6月発行

根本邦宏 著，東洋出版，1,500円



※昭和46年に地方の小さな中学校へ赴任した著者が、ふとしたことから生徒とホタルの調査を始めます。ホタルの研究は交配へと受け継がれ、やがて地域住民を巻き込んだ保護活動へと発展していきます。本書は勤務していた6年間を中心にその様子がいきいきと描かれています。ここに描かれた地区でも何度かホタルの灯が消えようとなりましたが、現在まで続く地域住民の取り組みにより、保護・再生が図られてきたそうです。

物だな～」と思いました。ぼくは、ずっとお世話をしてきた、ホタルの幼虫を二宮金次郎前の川に流したときぼくは「無事成虫になって、光をひからせながら、二宮金次郎前の川から元気に飛びたってほしいと思っています。」

ぼくの小学校生活最後の委員会が、ホタル委員会で本当に、よかったです。

ホタルから学んだこと

東 雅博

ぼくは、ホタルから学んだことがががあります。それは、自然の大切さです。ホタルは、きれいな川の中にしか生きられません。ぼくは、ホタルをはじめて見たとき、「きれいだな、もっとホタルの数をふやしたいな。」と思いました。そのためには、川をきれいにしなければなりません。だから、ぼくは皮のゴミを拾ったりしているし、これからもずっと続けていこうと思っています。しかし、これはぼくだけやってもあまり変化はありません。だから、ぼくはみんなにホタルの美しさを知ってもらって、みんなが川をきれいにしようという意識をもってもらえばいいなと思います。そして、世界中の人々と、ホタルから学んだことをいかして生きていく日々がくることを願っています。